

中国地域経済成長における経済政策の役割

名古屋市立大学大学院経済学研究科

趙 狄

2008/04/20

論文要旨

中国地域経済の成長不均衡問題に関連する多くの先行研究は、沿海地域の地理的優位性や改革・開放の経済政策が重要な原因であると確認されている(例えば、Chen and Fleisher(1996), Jian, Sachs and Warner(1996), Sylvie Demurger, Jeffrey D. Sachs et. al(2002)など)。しかし、これらの先行研究は経済政策がどのような経路で経済成長に影響するのかについてまだ検証されていない。そこで、本稿は中国の地域経済を研究対象にし、1978年以後に段階的或いは漸進的に実施されてきたと言われている改革・開放の経済政策がどのような経路で中国地域の経済成長に影響するのかに注目し、実証分析を行っている。実証分析にあたっては、1978年から2000年までの期間において中国の各地域に実施されていた改革・開放の経済政策を数値化し、それが各地域の経済成長と市場化及び外国直接投資に与える影響に着目し、30地域の2期間のプールデータを用いて三つのモデルで推計している。その結果、これまでの中国地域経済成長は市場化と外国直接投資の二つの要因に影響されていることと、経済政策は主にこの二つの要因を経路にして各地域の経済成長に影響を与えていることが確認された。